



1. 病院紹介

1975年の開設以来、腎臓・透析分野の専門的医療を追求しています。入院病床は127床で2病棟が急性期、1病棟が地域包括ケア病棟です。腎臓専門医による糸球体腎炎、多発性嚢胞腎などの治療、糖尿病専門医による糖尿病性腎臓病治療に加え、多職種チームで保存期CKD治療に取り組んでいます。

腎代替療法では、PDファーストを理念に腹膜透析に注力しており、アシストPDとして病院から訪問診療・看護に行ったりもします。血液透析ベッドは200床あり通常の血液透析に加え、オーバーナイト透析や在宅血液透析もさかんです。また大阪大学泌尿器科の協力で腎移植外来も設置されています。

2. 若手医師のバスキュラーアクセス治療の修練、透析患者のリハビリ入院など

透析バスキュラーアクセス治療件数が多く、出身大学を問わず若手医師がPTAや手術の修練もかねて在籍していますので、ご興味のある先生は是非いらしてください。さらに重症下肢虚血、透析アミロイドシスや骨粗鬆症、透析腎がん、眼科治療などの合併症治療を行っています。

また、他院で急性期の治療は済んだけれど体力の回復がまだ不十分な患者さんには地域包括ケア病床でのリハビリ入院も積極的に受け入れて、自宅退院・元の透析クリニック通院復帰への橋渡し役を担っています。



保存期CKD患者の運動療法

3. 保存期CKD患者の腎臓リハビリテーション

CKDステージG3b患者や糖尿病透析予防指導患者を中心に運動療法に取り組んでいます。

診察ごとに健康運動指導士による運動チェック・指導を繰り返して行います。まだ少数例での検討ですがeGFR低下を抑制する傾向がみられています。運動以外にも食事摂取頻度調査票を用いた栄養指導、腎看護外来での独自のCKD手帳を用いた生活指導や心理的サポート、お薬手帳へのCKDシール貼付など多職種での腎臓リハビリテーションを行っています。



CKD手帳

4. 透析患者の運動療法～いつまでも元気にプロジェクト

透析患者では健康寿命延伸を目指して、①運動②栄養③抗疲労に取り組む“いつまでも元気にプロジェクト”を行っています。患者さんに応じて、透析前の集団での運動と、当院で作成した運動療法のDVDをみながらの透析中の運動を実施しています。しっかり動きしっかり食べた後は、しっかり休息するために抗疲労対策が必要との考えの元、一部のフロアに電解水透析を取り入れたり、質の良い睡眠のために適応のある患者さんにはCPAP治療も積極的に行っています。まさに病院全体で保存期CKD、透析患者両方の腎臓リハビリテーションに取り組んでいます。



透析患者の運動療法

社会医療法人愛仁会 井上病院

〒564-0053

大阪府吹田市江の木町16-17

TEL: 06-6385-8651 FAX: 06-6386-1131

URL: <https://inoue.aijinkai.or.jp>